

会 議 録

[所管課 水谷公民館]

会議の名称	平成28年度第2回水谷地区公民館運営審議会会議録
開催日時	平成29年3月21日（火） 午後7時～午後9時
開催場所	水谷公民館 会議室
出席者	是永 国彦 委員 山本百合子 委員 冨塚 一資 館長 高見 淳也 主査 斉藤千恵子 専門員 南部 英司 主任
会議次第	【協議事項】 (1) 今後の水谷公民館の事業展開について ① サロン型公民館の展開 ② 家庭教育：親の学習講座 (2) 次年度事業の展開について 【報告・連絡事項】 (1) 学級講座等開催事業等に関して (2) 施設維持管理事業に関して 【その他】
会議資料	・水谷公民館公民館事業報告書兼事業評価 （事業報告書『富士見の公民館』原稿案） ・みずほ中央公園交流施設に関する案内
会 議 内 容	
<p>*あいさつ（館長、水谷地区公民館運営審議会委員代表）</p> <p>【報告・連絡事項】</p> <p>(1) 学級講座等開催事業等に関して ⇒2/25教育講演会 3/4ピースサロン特別企画 3/11・12水谷青空学校合宿について報告</p> <p>(2) 施設維持管理事業に関して ・公共施設予約システムに関して ⇒4月から導入予定の仮予約の自動削除等について説明 ・各種修繕・工事等 ⇒会議室・和室等の修繕・工事とうの実施について報告</p> <p>(3) その他 ⇒みずほ中央公園交流施設に関する事務の補助執行（受付等）について報告</p>	

【協議事項】

(1) 平成28年度事業評価（事業記録：富士見の公民館）について

職員：平成28年度の事業について、委員のみなさまから意見を伺うことになっているが、今回は、水谷公民館として特に現在課題と考えている、水谷学級（高齢者学級）および公民館だよりについて意見をいただき、今後の事業展開の参考としたい。また時間が取れば、いっしょにたべよ（いわゆる子ども食堂）、回想法講座（郷土資料室活用）、親の学習講座についてもご意見をいただきたい。

①水谷学級（高齢者学級）について

⇒ 職員から資料に基づき事業概要について説明。全体会の出席率の低さや内容などが課題となっている。

委員：幼稚園と先生の交流の機会毎年行っているが、特に参加者が少ない。幼稚園児や先生に申し訳ない。もう少し工夫して展開できないか。

職員：公民館4館で高齢者学級の担当者が集まって会議を開き、意見・情報交換をしたが、全体会の内容はどの館も課題となっているようだが、『学習』ということに力点を置いて取り組めればと考える。

職員：他の公民館で高齢者学級を担当していたが、その時にも同様の課題があり、グラウンドゴルフ大会をやめ、ジャーナリストや弁護士を招いて社会情勢を学ぶなどの学習機会を増やした。当公民館で行われているおひとりさまサロンにおいても、過日、終活・遺産相続について学習する機会があった。このような形で、テーマを絞った学習展開を充実させ、全体会での学習をとおして、暮らしを良くするための機会になるよう取り組んでいければと考える。

委員：分野で言えば『健康』が最もたる課題と考える。例えば認知症についても、歯周病も関連があり、それには口腔歯科について学んでみたり、体操など体を動かすことも関係してくる。また、介護保険制度が変わり、一般介護予防事業として公民館の活動も重要になってくる。その観点から、認知症の方とどう接していくのかということも学ぶ必要性も出てくる。このようにテーマに付随した内容で様々な課題があり、学習内容として取り組んで行けるものはあると考える。

②公民館だよりについて

⇒ 職員から資料に基づき事業概要について説明。編集委員の減少などもあり、編集会議の持ち方や特集のテーマ決定や取材体制などが課題となっている。

職員：他の館も編集委員は減少傾向にあるようで、例えば西交流センターではグループ分けをして取材編集を行っている。水谷公民館でも特集を担当制としているが、積極的な取材を行えないのが現状である。

職員：編集活動を進めながら、原稿を作成していくのが本来の姿である。ある特集の際、出版物からの引用が記事の中心となった時もある、フットワークやそこに至るまでの編集委員会の持ち方も課題であると考えます。

委員：過去の特集を洗い出し、その特集テーマについて、今はどうなっているのか再度取り組んでみたりすることはどうか。また、新しく住まわれた方に向けて、この地域の歴史や名所などを紹介することも大切では。例えば『みすほ台駅』について、その歴史などを紹介すれば、普段通勤で利用している市民の方も見方が変わってくるのでは。また、地域の方がたくさん出る紙面づくりが必要では。紙面に誰が登場しているかは他の広報誌を含めて気になるところで、入りやすいところであると考えます。

職員：編集委員会の進め方、来たら楽しくなる、何か新たな発見があったというような工夫が必要では。また、委員の意見にもあったが、『地域の顔』、『地域を知る』、『地域で何が行われているか』常に意識して取り組んで行くことが重要であると考える。

③いっしょにたべよ（いわゆる子ども食堂）

④回想法講座（郷土資料室）

⑤親の学習講座（親の学習講座）

⇒上記③～⑤について、今年度水谷公民館で新たに支援したり取り組んだもので、概要について報告。今回は個別に意見交換する時間は取れないので、別紙事業報告書の公運審の意見欄にご意見を記入願いたい。

（２）平成２９年度の水谷公民館の事業展開について

委員：これまで、公運審で公民館でカフェに関連した取組みを行えないか意見交換してきたが、今後の展開は。

職員：講座形式というよりも、イベントでの取組みということで、水谷文化祭のふれあいのタベでコーヒーコーナーを設置し、参加者から好評を得たとともに、そのような需要もあることを感じた。今後もイベントなどで取組みながら今後の可能性について研修したい。

委員：新たにできたみずほ台中央公園の交流施設で展開できれば、人も多く集まるので、良いのでは。

職員：みずほ台中央公園の交流施設については、公民館としても地域施設として、活用した事業を展開できないか検討していきたいと考えているが、３月にオープンしたばかりなので、施設の利用状況等を見ながら研究していきたい。

【その他】

（３）その他

⇒事務局から、別紙資料の平成２８年の事業報告および事業評価について、公運審の意見を記入いただき、後日提出いただくよう依頼。

*閉会